

元気な農業



<第3号>

JA富士宮 経済部

平成27年12月14日発行

秋の収穫から冬支度の時期となりました。

今年の冬は例年に比べ温かい日が多く、作物の成長の見通しが立てづらいですね。東海地方の1か月予報（名古屋地方気象台12月10日発表）では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みとなっております。

日照時間も平年並みまたは少ない見込みとなっております。

風邪など引かないよう、防寒対策も怠らないようにしましょう。



INFORMATION

年間予約肥料・農薬

★予約肥料・農薬の注文取りまとめ時期となります。

水稲関係～野菜・お茶関係まで幅広く取り揃えております。

オススメ農薬の紹介もありますので、是非ご注文をお願い致します。

～ オススメ農薬 ～

●水稲 **オシオキMX1キロ粒剤**

使用時期：移植後14日前 ノビエ4葉期但し収穫45日前まで

用途：ホタルイ・マツバイ 他 水田1年生雑草、水田多年生雑草

●野菜 **プリロツソ粒剤 <キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー・レタス・トマト・キュウリ他>**

使用時期：主に育苗期後半～定植時 1株/1g～

用途：コガ・アムシ・アブラムシ・ハマダラメイト 他

●茶 **ナリアWDG (500g)**

使用時期：萌芽～開葉期 用途：炭そ病・輪斑病・新梢枯死症

2000倍 摘採14日前 2回

エクシレルSE (500g)

使用時期：発生初期 用途：アゲハシ・カイロウシ 他

2000倍 摘採7日前まで 1回

ペーパー pH のハナシ

作物には育ちやすい土壌のpHがあります。

pH 4~5 お茶

pH 5~6 ジャガイモ・サツマイモ

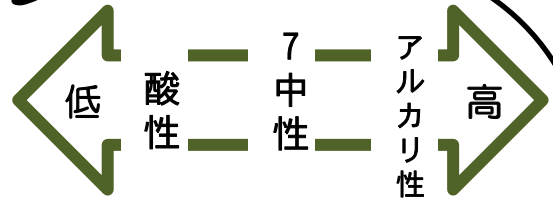
pH 6~7 レタス・タマネギ・カブ・ニンジン等

pH 6~7.5 キュウリ・トマト・ホウレンソウ・キャベツ等

pH 7~8 アスパラガス・ビート等

ほとんどの野菜は弱酸性~中性の土を好みますが、雨の多い日本の土壌は成分が流されやすく酸性土になってしまいがちです。化成肥料も酸性の性質がありますので、石灰をまいて土壌を中和させましょう。

また、作物によって酸性を好むものもあります。土地ごとの性質もあります（水はけ等）ので、土地にあった施肥を行いましょう



ワンポイント
アドバイス



ジャガイモは土壌が中性からアルカリ性になると、そうか病が発生しやすくなります。

| pHを1上げるには..... | |
|----------------|---------------|
| pHの値 | 苦土石灰量(kg/10a) |
| 4.9以下 | 260 ~ 340 |
| 5.0~5.4 | 160 ~ 200 |
| 5.5~5.9 | 80 ~ 100 |
| 6.0~6.4 | 40 ~ 50 |
| 6.5以上 | 0 |

(農林水産省HPより)

左の表はあくまでも目安ですが、急激に上げることはできません。計画を立てて調整しましょう。



JAでは土壌診断も受け付けております。
お気軽にご相談下さい。